



地学と切手

ハンガリー地質調査所

100年記念切手

P. Q.

ハンガリー地質調査所 Magyar Kiralyi Foldtani Intezet (国立地質学研究所とも訳され 切手のカタログもそのようになっているが 地質調査所報告第1号 世界各国の地質調査事業 でも洪国地質調査所と記されているのでそれに従った) は 1969年に創立100年を迎えて8月に8種1組の記念切手を発行した。切手はハンガリー特産の鉱物と化石が描かれ 産地が記されている。

ハンガリーの歴史をみると 896年に東方で近隣の圧迫を受けたハンガリー人がカルパチヤ山脈を越えて ダニューブ川中流に居住したことに始まる。彼らは自らをマジャールと称している。中部ヨーロッパは昔から勢力争いの場だったらしく 16世紀から17世紀にかけてはトルコ人の支配の下にあって悲惨な生活であり、それだけに抵抗も激しかったらしい。1686年にトルコ人を追って西のウィーンから来たのも 解放者というよりむしろ征服者だった。このハプスブルグ家に対する抵抗もその後約200年にわたって続くことになる。1848年の高揚時には 4月にハンガリー議会がハプスブルグ家支配からの離脱を宣言したが 時の皇帝フランツ ヨセフはツァーの力を借りて制圧してしまった。これらの

抵抗のためにハプスブルグ家も遂に譲歩を余儀なくされ帝制下ではありながらも ハンガリーがオーストリアと対等の自治領となったのが1867年で、これがオーストリア・ハンガリー帝国の成立である。

ハンガリー地質調査所はこのように完全に内部独立をかちとった2年後の1869年に オーストリア地質調査所から独立して設置された。現在社会体制が異なりながらも その創立100年を記念するという気持も分かるような気がする。地質調査所報告第1号(1907)によると ハンガリー地質調査所は 土性地質 地質 鉱床地質 分析の4課に分かれ、7万5千分の1または2万5千分の1地質図および土性図を発行し 説明書と年報をも出版している。その時の人員は 所長1 主任地質技師4 地質技師4 1等地質技師3 2等地質技師5 主任分析技師1 分析技師1 製図技師1 兼務補助4である。

切手は 40フィラー Zerkova Ungari 60フィラー：方解石 1フローリン：Clupea hungarica 1.2フローリン：水晶 2フローリン：Reinockia crassicostata 3フローリン：Termesrez. cuprum 自然銅 4フローリン：Placochelys placodonta 5フローリン：赤銅鉱と 化石と鉱物とが交互に示されている。